

2021年度環境経営レポート

(対象期間:2021年12月1日～2022年11月30日)



エコアクション21[®]
認証番号0012060

株式会社 浅川組

発行日:2023年5月1日

環境経営方針

基本理念

当社は、建設土木工事業によって出る環境への影響を的確に捉え、環境負荷の継続的な削減に取り組み、その活動を通じて社員一人ひとりが環境保全に自主的・積極的に行動します。

行動指針

1. 私たちは、次のことについて重点的に取り組みます。

- 1) 二酸化炭素排出量の削減
- 2) 水資源使用量の削減
- 3) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- 4) 再生資源の積極的利用の推進
- 5) グリーン調達への推進
- 6) 清掃活動による地域貢献の推進

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。

2. 私たちは、環境に関連して適用される法令、及び、その他の同意する要求事項を遵守します。

この環境方針を全ての従業員に周知します。

制定日： 2017年6月1日

改定日： 2019年12月2日

株式会社 浅川組

代表取締役 浅川 卓伸

取組の対象組織・活動

1. 組織概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 浅川組
代表取締役社長 浅川 卓伸

(2) 所在地

本社
徳島県名東郡佐那河内村下字中川原10-8
TEL:088-679-2245 FAX:088-679-2088

資材倉庫

徳島県名東郡佐那河内村上字宮前48-9

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者

環境管理責任者 浅川 卓伸

担当者 浅川 雄紀

(4) 事業内容 土木工事業、とび・土工事業、石工事業、舗装工事業
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

(5) 事業規模

売上高	198,984千円
従業員	9名
延べ床面積 事業所	145㎡
資材倉庫	240㎡

(6) 事業年度 12月～11月

2. 認証・登録の対象組織及び活動

認証・登録事業 株式会社 浅川組

対象事業所: 本社
資材倉庫

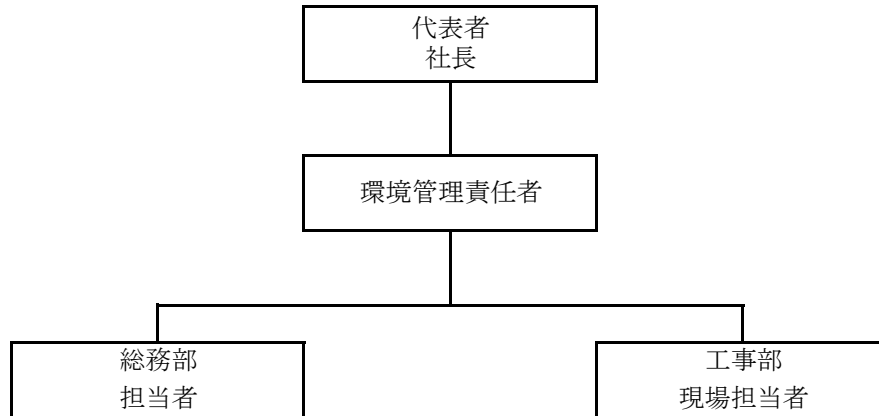
事業活動範囲: 土木工事業、とび・土工事業、石工事業、舗装工事業
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

3. 環境に関する苦情等の受付窓口

担当者 浅川 雄紀

TEL: 088-679-2245

株式会社浅川組 環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
総務部・工事部 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

【 環境経営目標（事務所、現場） 】

項 目	2020年度 20年12月1日～ 21年11月30日 実績(基準値)	2021年度目標 基準比1%削減	2022年度目標 基準比2%削減	2023年度目標 基準比3%削減
二酸化炭素排出量(kg-CO2/年)	59,248	58,655	58,063	57,470
電力使用量 (kWh/年)	7,446	7,372	7,297	7,223
燃料使用量	ガソリン (L/年)	5,757	5,699	5,642
	軽油 (L/年)	14,525	14,380	14,235
廃棄物	一般廃棄物(kg/年)	170	168	167
	産業廃棄物(t/年)	490	485	480
水使用量 (m3/年)	147	146	144	143
グリーン購入(ファイル)	10	10	10	10
グリーン商品(品目/年)				
再生資源の積極的利用の推進(碎石)(%/年)	100%	100%	100%	100%
社会貢献活動(清掃活動)(回数)	年4回(アドプト) 月1回(会社周辺)	年4回(アドプト) 月1回(会社周辺)	年4回(アドプト) 月1回(会社周辺)	年4回(アドプト) 月1回(会社周辺)

電力の排出係数 2020年環境省公表の2018年度四国電力調整後排出係数 0.528(kg-CO2/kWh)

【 今年度の環境経営目標とその実績 】（期間 2021年12月1日～2022年11月30日）

項 目	2021年度目標値	取組み期間実績 (2021.12.1～ 2022.11.30)	達成率(%)	評価
二酸化炭素排出量(kg-CO2/年)	58,655	55,119	106%	◎
電力使用量 (kWh/年)	7,372	7,750	95%	○
燃料使用量	ガソリン (L/年)	5,699	5,552	103%
	軽油 (L/年)	14,380	14,630	98%
廃棄物	一般廃棄物(kg/年)	168	105	160%
	産業廃棄物(t/年)	485	125	388%
水使用量 (m3/年)	146	168	87%	○
グリーン購入(ファイル)	10	11	110%	◎
グリーン商品(品目/年)				
再生資源の積極的利用の推進(碎石)(%/年)	100%	100%	100%	◎
社会貢献活動(清掃活動)(回数)	年4回(アドプト) 月1回(会社周辺)	年4回(アドプト) 月1回(会社周辺)	100%	◎

注:環境経営目標は事務所と現場を同時に記載する。◎:100%以上、○:80%以上、△:50%以上、×:50%未満

◇環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組計画	責任者 (担当者)	通年	次年度の	取組結果とその評価 (総括)
		達成状況	取組内容	
電力の二酸化炭素排出量削減				
夏季エアコン26℃(開始時期を極力遅らす)	総務部	◎	取組継続	目標達成できた。 こまめな消灯、初夏頃には窓を開ける、 冷房の設定温度を低くしすぎないなど 節電を心がけた。
冬季エアコン20℃	(○)	◎	取組継続	
効率的な仕事をする	工事部	○	取組継続	
扇風機との併用	(-)	○	取組継続	
使っていないコンセントを抜く		◎	取組継続	
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減				
エコドライブの励行(10カ条)	総務部	◎	取組継続	目標達成できた。 工事数が増えたため、現場の軽油の 使用量が増えた。アイドリングストップや複数人で 乗り合わせをする、無駄積みをしないなど、 エコドライブを心がけるように周知する。
適正な車両整備(空気圧等)	(○)	○	取組継続	
効率的な業務の徹底(段取り)	工事部	◎	取組継続	
四車両以上の車間距離の徹底	(○)	◎	取組継続	
適切なルート選定		○	取組継続	
一般廃棄物の削減				
極力用紙からPDFに変更	総務部	○	取組継続	目標達成できなかった。 印刷する必要があるかどうか確認したり、 印刷の場合は再生用紙の使用を推進する。 できるだけPDFでデータに残す等してペーパーレス を心がける。
プレビュー徹底	(○)	◎	取組継続	
メール&ファクスにて通達	工事部	◎	取組継続	
	(-)			
産業廃棄物の削減				
材料発注時に正確な数値で拾い出しをする	総務部	○	取組継続	目標達成できた。 材料発注時の正確な拾い出しを行い、残材の活用を 心がけた。 こまめな分別をすすめた。
手戻りを極力抑える	(-)	◎	取組継続	
支障なき箇所に再利用を行う	工事部	◎	取組継続	
有価物の選別	(○)	◎	取組継続	
水使用量の削減				
節水型便器の情報を収集する	総務部	○	取組継続	87%目標達成できた。 水洗トイレの大小レバーを使い分ける等の節水対策を 心がける。 洗顔、歯磨き、食器洗い時に出したままにしない。
倉庫に雨水の有効利用(雨水タンク等)	(○)	△	取組継続	
	工事部			
	(○)			
グリーン購入の推進				
エコマーク商品を積極的に購入する	総務部	◎	取組継続	目標達成できた。 事務用品はエコ商品を購入するように心がけた。
	(○)			
	工事部			
	(-)			
再生資源の積極的利用の推進				
再生資源の種類を把握する	総務部	◎	取組継続	目標達成できた。
	(-)			
	工事部			
	(○)			
社会貢献活動				
ロードアドプト 年4回	総務部	◎	取組継続	清掃活動を行った。 今後も一層取り組む。
会社周辺の清掃 月1回	(○)	◎	取組継続	
	工事部			
	(○)			

◇環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の無無

法的義務を受ける主な環境関連法規等は次のとおりです。

法規制等名称	遵守事項
環境基本法	事業活動に伴う公害を防止し、自然環境の保全措置を講ずる。
地球温暖化対策の推進に関する法律	事業活動及び日常生活に関し、温室効果ガス (二酸化炭素、メタン等)の排出の抑制のための措置を講ずるように努める。
環境配慮事業促進法	事業者は事業活動に係る環境情報の提供に努める。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	委託契約の締結、許可証の確認、マニフェスト管理
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	対象工事 解体工事 80㎡以上 建築物の新築・増築工事 500㎡以上 建築物の修繕・模様替工事 1億円以上
騒音規制法	地域指定された場所における特定建設作業(解体作業を含む)の実施届出
振動騒音規制法	地域指定された場所における特定建設作業(解体作業を含む)の実施届出
グリーン購入法	できる限り環境物品を選択する。
フロン排出抑制法	第一種特定製品の簡易点検と記録保管

環境関連法規等の遵守評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

◇代表者による全体の評価と見直し・指示

今年度は新しい中長期環境経営目標の1年目となり、社員全員で取り組んだ結果、概ね良い成果が得られました。
目標達成はコストダウンや業務レベルの向上につながるため、社員の環境活動に対する意識の更なる向上を図り、目標を達成できるように努めていきたいと思っております。
環境経営方針及び実施体制は継続して取り組みます。

◇環境活動の紹介



清掃活動



火災訓練